

【開催報告】田中俊之さん講演会 ポストイクメン時代 男の生き方もハーフ&ハーフで

平成29年6月24日（土曜日）午後1時から、アビスタ・ホールで男女共同参画月間講演会を開催しました（参加者45人）。

講師は大正大学准教授の田中俊之さんです。講師の専門分野である「男性学」とは、男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤を対象とした学問。マスコミなどにもその視点からのメッセージを発信し続けています。



変わらない「馬車馬のように」働く男性たち



「男は仕事、女は家庭」から「男も女も、仕事も家庭も」へと、家族のあり方は変化しています。男性の収入だけで一家を支える家庭像は崩壊。しかし男性の働き方はほとんど変化せず「働き過ぎ」のままです。

残業が「普通」で定時帰宅は「異常」との見方が世の中にあり「定時で帰ろうとするとそわそわしてしまう」。家族も「お父さんが働き過ぎで嫌だ」とは言わない。女性対象の講演会で「夫の良いところ」をあげてもらったところ、「馬車馬のように働くこと」という答えがありました。



そうなるとう男性には「仕事以外」がありません。友達がない、趣味もない。地域に居場所がない。「おれ、大変なんだよ」と弱音をはける人がいない。“中高年のおじさん”の真剣な悩みを聞いてくれる人など、世の中にはいません。

男性も今一度、立ち止まって考えてみよう



今一度、ワーク・ライフ・バランスについて考えてみましょう。「仕事と<生活>のバランス」と言われますが、ライフのもつ<生命>や<生涯>という意味で、再考した人がいます。まず「仕事と<生命>のバランス」です。深刻な事態でな

くても「体調が悪いのに忙しくて病院に行く暇がない」のが日常的になってはいないでしょうか。

次に「仕事と<生涯>のバランス」。人生100年時代といわれ、退職後の人生も長い。定年後に「きょうよう（今日の用事）・きょういく（今日行くところ）」がありますか。仕事だけでない自分の人生、自分を大切にすることについて、早いうちから考えてみませんか。



関係形成型コミュニケーション力を磨く



男性のコミュニケーションは必要なことを伝える「要件伝達型」といわれますが、自分らしく生き抜くには「人間関係形成型」が効果的。相手の話を聴き、共感を大切にする会話で、人とつながります。ママ友のおしゃべりのように、意味や目的がなくてもそれ自体が楽しいもの。男性も「相手の言っていることを否定したり、割り込んでしゃべったりせず、ひたすら聴く」ことを始めてみませんか。そうすれば自分と異なる価値観を持つ人に出会った時、純粋に尊重し心を開くことができる。これを積極的寛容といいます。

男性にとっての男女共同参画

もちろん、女性が主婦でもいい、働きたい男性もいい。性別にとらわれずになんでもできる。多様な生き方があっていい。誰もが苦しい思いをせずに自分なりの生き方ができる。「そんな社会を実現するのが男女共同参画。女性だけのものではありません」と田中さん。



今回は初めて、男性参加者が過半数を占めました。「男性学という今まで知らなかった視点がおもしろかった」「講師と同性・同世代で納得する点が多く共感した」「男性にも男女共同参画が大切と感じた」など、講師のメッセージがしっかり受け止められたことがアンケートからうかがえました。

講師プロフィール：田中俊之さん



博士（社会学）、大正大学心理社会学部准教授

1975年東京都生まれ。男性学を主な研究分野とする。「日本では“男”であることと“働く”ということとの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らしている。

著書『男性学の新展開』青弓社、『男がつらいよ—絶望の時代の希望の男性学』KADOKAWA、『〈40男〉はなぜ嫌われるか』イースト新書、『男が働かない、いいじゃないか！』講談社プラスα新書、小島慶子×田中俊之『不自由な男たち—その生きづらさは、どこから来るのか』ほか。

講師の田中俊之さんの本

表紙画像は各出版社の許可を得て掲載しています

田中俊之
『〈40男〉はなぜ嫌われるか』
イースト新書
2015年8月

イクメンだけではなくイクタン…実現不可能な理想が40男を追い詰めるが…

男性はなぜ問題を抱えてしまつたか。これからの時代をどう生きるか

田中俊之
『男がつらいよ—絶望の時代の希望の男性学』
KADOKAWA
2015年5月

小島慶子×田中俊之
『不自由な男たち—その生きづらさは、どこから来るのか』
祥伝社新書
2016年6月

なあ、俺たちこんなに頑張ってるのに、こんなのつておがしくねえか？

男は働くのが当たり前？会社いきたくはないなあ…ということはいいですか？

田中俊之
『男が働かない、いいじゃないか！』
講談社プラスα新書
2016年3月

田中俊之さんは新聞やインターネットでも多数の執筆記事があります。検索してみてください。

田中俊之

講師著書等はホール後方に展示してあります。貸し出しや予約は行うことができません。その場での閲覧をお願いします。貸し出しは後日ホール向かいの図書館で受け付けます。ご希望の方は図書館までお問い合わせください。

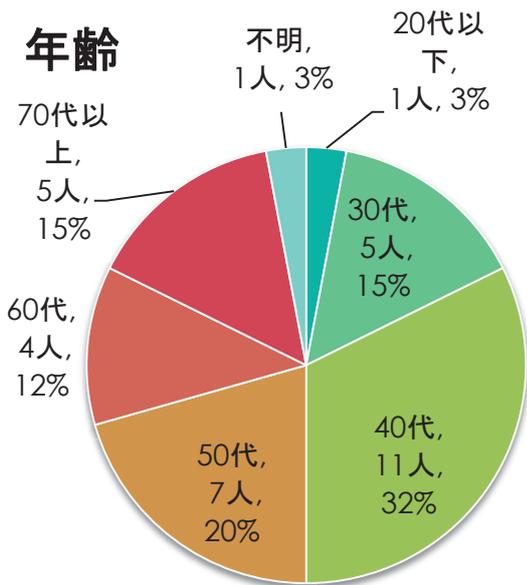
会場に展示したパネル

参考

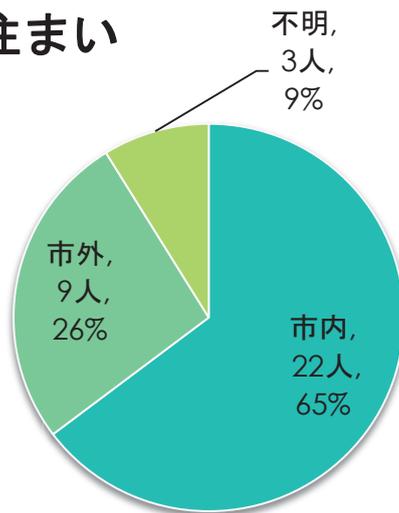
- 当日参加者アンケート集計結果
- ポスター
- チラシ

平成29年6月24日我孫子市男女共同参画講演会 参加者アンケート（集計） 参加者45人、有効回答数34人、回答率75.6%

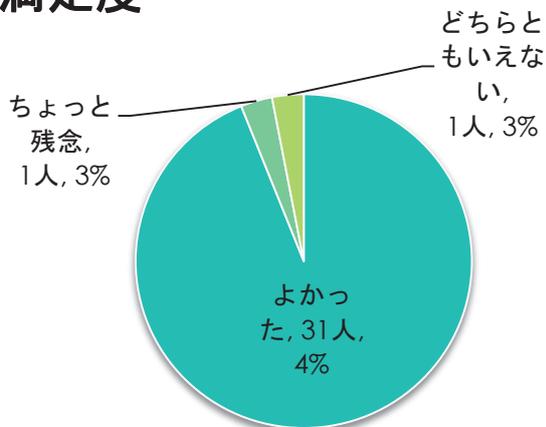
年齢



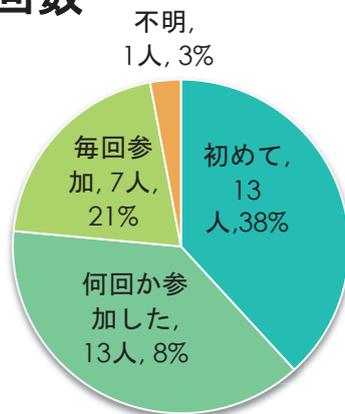
お住まい



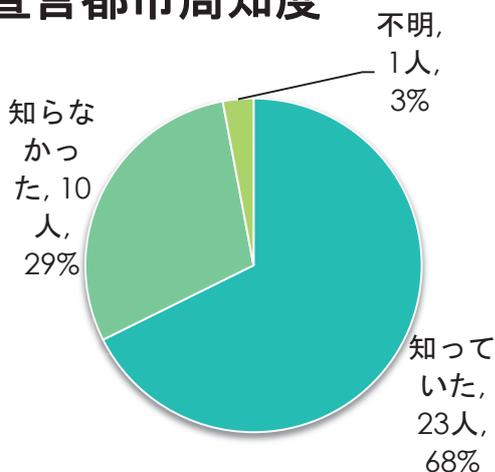
満足度



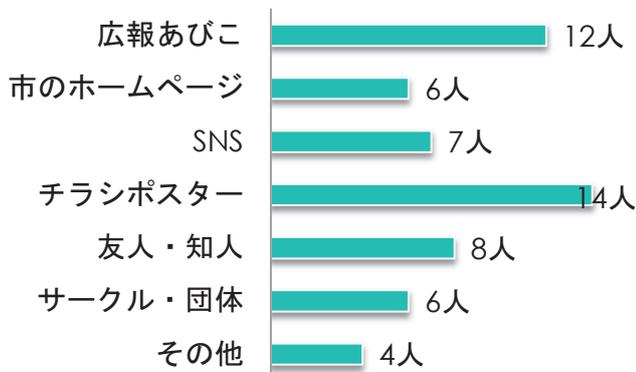
参加回数



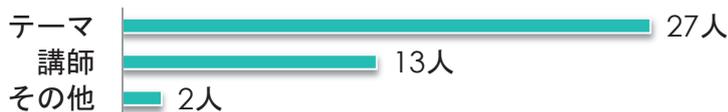
宣言都市周知度



講演会を知った媒体 (複数回答)



事前に関心のあったこと (複数回答)



平成 29 年 6 月 24 日我孫子市男女共同参画講演会 参加者アンケート・自由記入欄

○男女共同参画社会とは女性だけのことではなく男性も関心をもたなきゃいけないんだと思った。(市内、男性、20代以下)

○講師の田中先生の話は非常に面白く、とても共感できました。親子(父子)向けの事業を行って頂くのも面白そうと感じました。(白井市、男性、30代)

○質問タイムがあると良かったです！(東京都大田区、女性、30代)

○自身も子育て世代であり、どうあるべきかをよく考えていますが、なかなか答え(ありがたい姿)を見つけるのに苦労しています。今日話を聞いて考え方が開けた気がしました。(市内、男性、30代)

○自分の生き方を見直すことに目を向けようと感じた。自分の普通は異常なんだと…。(市内、男性、40代)

○男女共同参画について女性だけにスポットをあてがちでしたが、男性に対しても同じであると思いました。お互い共感しなくてはと思いました。(市内、女性、40代)

○おもしろかったです。特に「さしすせそ」「あいうえお」をやめること。一人一人の人権尊重が大事だと思います。積極的寛容ですね。またこのような企画をぜひお願いします。(市内、女性、40代)

○とても興味深かったし、楽しかったです。(市内、男性、40代)

○結婚相談所を経営しているので、男性学にとっても興味がありました。面白かったです。(柏市、女性、40代)

○ちがうものを受け入れる、よりよいものをつくる地域になったらなあと思いました。夫に趣味ができるように休日をすごしてほしいと思いました。全世代が賃金格差から生じるものを理解する機会が増えたらいいなあと思いました。(市内、女性、40代)

○貴重なお話をお聞きできました。ありがとうございました。(市内、男性、40代)

○男性もつらいことがわかって参考になりました。お互い共感して暮らしやすくなればと思いました。(船橋市、女性、40代)

○共感できる事柄が多数ありました。男性の“共感”が足りないなあ…と思うことが多くあります。思いやりや協調は大切だと思いました。(女性、40代)

○印象に残ったこと、「きょういく、きょうようがある」「共感について」。感想、男女共同の視点だけ

でなく、ものの考え方についても参考になった（市内、男性、50代）

○男性学の立場からの講演だったので、興味深く話を聴けた。（柏市、男性、50代）

○「男性学」について聞いてよかったです。目からウロコでした。（女性、50代）

○男女共同参画が女性だけでなく、すべての人にかかわってくることで、一人一人が生き生きと暮らすためには、社会全体を変えないと、という所が印象的でした。みんなで力を合わせてそういう社会を作っていきたいです。（柏市、女性、50代）

○これからの社会は、競争から共生、まさに同感。人間関係も要件伝達型から関係形成型で作っていきたいですね。（市内、男性、60代）

○だれもカヤの外にしない男女共同参画社会の実現を（男性も、子どもも、独身者も、子どもをもたない人も）。（市内、女性、60代）

○大変現実に即した話で参考になりました。納得する点が多々ありました。とても良かったです！（市外、女性、60代）

○初めて聞く話でとても良かったと思います。一度止まって考えてみます。（取手市、男性、70代以上）

○（印象に残ったこと）要件伝達型コミュニケーション＝要件を伝えることを目的としたコミュニケーション、関係形成型コミュニケーション＝相手との共感を目的としたコミュニケーション（市内、男性、70代以上）

○大変興味ある講演資料でした。歯切れのよいお話でした。（市内、男性、70代以上）

○男性学…視点を変えてみると面白いと感じました。（市内、男性、70代以上）

○男性学から最後は命のことへと男女共同参画の意味を深く読み取れてよかったです。（市内、女性、70代以上）

ポストイクメン時代

男の生き方もハーフ&ハーフで



イクメンという言葉が社会的に定着した現代でも、相変わらず男性の生き方は仕事中心です。これでは男性も女性も疲弊していくばかり。仕事も家庭も、共に無理なくこなすには…。テレビや新聞でおなじみの講師が男性学の視点から解き明かします。

講師：田中 俊之さん

博士(社会学) 大正大学心理社会学部准教授

無料 どなたでも
先着100人

6月24日(土) 13:00~14:30(12:30開場)

アビスタホール 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」1階
我孫子市若松26-4 我孫子駅南口徒歩10分

申し込み

電話、ファクスまたはインターネットで。
QRコードからスマートフォンなどで申し込みができます⇒

我孫子市秘書広報課男女共同参画室

TEL: 04-7185-1752 / FAX: 04-7185-1520

託児は6月9日(金) 締切(2歳以上就学前、1人200円)



我孫子市男女共同参画月間講演会

ポストイクメン時代

男の生き方もハーフ&ハーフで



イクメンという言葉が社会的に定着した現代でも、相変わらず男性の生き方は仕事中心です。これでは男性も女性も疲弊していくばかり。仕事も家庭も、共に無理なくこなすには…。テレビや新聞でおなじみの講師が男性学の視点から解き明かします。

講師：田中 俊之さん

博士(社会学) 大正大学心理社会学部准教授

無料 どなたでも
先着100人

6月24日(土) 13:00~14:30(12:30開場)

アビスタホール 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」1階
我孫子市若松26-4 我孫子駅南口徒歩10分

申し込み

電話、ファクスまたはインターネットで。
QRコードからスマートフォンなどで申し込みができます⇒

我孫子市秘書広報課男女共同参画室

TEL: 04-7185-1752 / FAX: 04-7185-1520

託児は6月9日(金) 締切(2歳以上就学前、1人200円)



FAX:04-7185-1520 我孫子市役所男女共同参画室

6月24日(土)13時開演

田中俊之さん講演会

ポストイクメン時代 男の生き方もハーフ&ハーフで

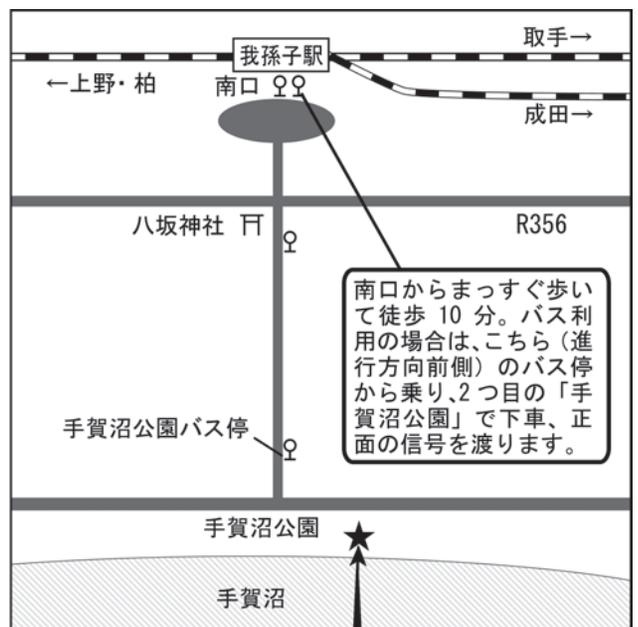
参加申込書

ふりがな お名前 (連名可)	
連絡先	事前連絡が必要になった場合にのみ使用します。代表者のかたの電話番号かメールアドレスのうち、いずれか一つご記入ください。
託児申込 6月9日(金) 締切	2歳から就学前までのお子さんをお預かりします(1人200円)。 お子さんそれぞれの年齢(○才○か月まで)と性別をご記入ください。 当日、おもちゃ、食べ物、飲み物等には必ずお名前を付けてご持参ください。 ・ 歳 か月 (女・男) ・ 歳 か月 (女・男) 以上 名

- ご記入いただいた個人情報是我孫子市個人情報保護条例に基づき適正に管理し、講演会運営上の連絡以外には使用しません。
- 受付票等の返信はしませんので、当日会場にお越しください。定員に達しご参加いただけない場合のみご連絡します。
- 電話または、インターネットでも受け付けています。
我孫子市男女共同参画室 TEL:04-7185-1752(直通)



従来型携帯電話
スマートフォン
→



アビスタホール 我孫子市若松 26-4
我孫子市生涯学習センター「アビスタ」1階

パソコンのかたはホームページから
我孫子市男女共同参画講演会 検索

<https://www.city.abiko.chiba.jp/shisei/kyoudousankaku/kouenkai.html>